

2023 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)

## 2023 年度事業計画書

### 基本方針

拠点じじっか設立から 3 年目となる。これまで事業推進(活動)してきた過程の中で見えてきた人々の「貧困の根本原因」に対し、今年度は地域の狭間となっている支援体制や、当事者視点から見えてきた活動の視点をソーシャルビジネスとして事業成立させていく 1 年としていく。

3 年間で構築してきた、当事者同士の支え合う暮らしを確立するためのプログラムを軸に、今期は就労支援事業や、緊急時の宿泊施設等の環境整備に努めていく。

久留米市からの受託事業、補助金の申請、制度を活用した活動、じじっかというブランドを強化した商品開発などでの自主事業の展開を見据え、困窮世帯を中心とする住民に対し更に包括的な活動(支援体制)を構築し、継続していける基盤づくりを行う。

### 今年度の活動

#### ①ラッキーループプログラムの構築

法人の軸となる、当事者同士が支え合う仕組み「10 個のシェアメニュー」を提唱するラッキーループプログラムを推進し、向上していく生活を目指すだけでなく「3 分の 1 生活」という独自の生活スタイルでひとりひとりの豊かさを創造しゆく自立を目指す。

#### ②寄付の仕組みの構築

血縁のない大家族(会員)を増加させる(現在 240 世帯)。当事者も寄付ができる仕組み(リリボンプロジェクト)とファンづくり(寄付金の集約)の 2 つの会員を募り、活動資金として反映させていく。

#### ③就労支援と自主事業の展開

2023 年 3 月を目標に就労支援事業を設立予定。じじっか活用者達の「働く場」を構築する。「働く場」として、他企業との連携を含み、当法人での「リリボンマーケット」の展開により、事業としての展開を目指す。

#### ④拠点展開による活動の拡大

昨年 12 月に 2 拠点目「じじっか大牟田」のオープンにより、福岡県南部に位置する筑後地域全域のエリアを視野にいれ、活動の幅を広げていく。包括的な当事者視点での支え合い活動を元に、仲間・ファン・連携先を増やし更に多くの対象者と共に生きていく土台をつくる。

### 活用助成金

#### 1. 久留米市「支援対象者児童等子ども見守り強化事業」

2020 年 10 月～現在

- ・ 18 歳までの児童を対象に虐待や不登校、貧困等でのこどもの見守りが必要な

家庭への月2回ずつの食事配達と学習支援  
昨年度から引き続き55件の食事配達と10件の学習支援を継続

助成金額：約900万円/年

2. 日本財団「子ども第三の居場所コミュニティモデルの運営」

2021年7月～2024年3月 昨年度より継続

- ・じじっか独自の10個のシェアメニューを展開
- ・親子食堂の開催(毎週金土日の昼)

金曜日：不登校児や引きこもりの子などの安心した空間とカフェの展開

土曜日：小学生向けの子どもプレゼン教室

日曜日：地域との交流を展開

助成金額：580万円

2023年4月1日記載